

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月4日

上場会社名 鳥居薬品株式会社

上場取引所 東

コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松尾 紀彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 千葉 昌

TEL 03-3231-6811

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	33,073	13.8	5,668	22.4	5,860	19.2	3,318	0.2
21年3月期第3四半期	29,052	—	4,632	—	4,917	—	3,313	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	117.25	—
21年3月期第3四半期	117.05	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	84,297	74,305	88.1	2,625.40
21年3月期	81,433	72,034	88.5	2,545.10

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 74,305百万円 21年3月期 72,034百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	21.00	36.00
22年3月期	—	18.00	—		
22年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,900	14.9	6,100	24.5	6,300	19.8	3,500	0.7	123.66

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	28,800,000株	21年3月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	497,482株	21年3月期	496,840株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	28,302,758株	21年3月期第3四半期	28,304,267株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の売上高は、33,073百万円と前年同期に比べ4,021百万円(13.8%)増加しました。

これは、平成21年3月から「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」の販売を開始したことに加え、4月から「セロトーン(制吐剤)」の販売が当社に一本化されたこと等によるものです。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「注射用フサン(蛋白分解酵素阻害剤)」は後発医薬品の使用促進策の影響もあり前年同期比14.0%の減となりましたが、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は前年同期比42.8%の増、「セロトーン」は前年同期比132.2%の増となった他、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」は前年同期比7.0%の増、「ドボネックス軟膏(尋常性乾癬治療剤)」は前年同期比21.5%の増と伸長しております。

費用面におきましては、売上原価は12,242百万円と前年同期に比べ1,708百万円(16.2%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費並びに販売促進費が増加したこと等により15,161百万円と前年同期に比べ1,277百万円(9.2%)増加しました。

以上の結果、営業利益は5,668百万円と前年同期に比べ1,036百万円(22.4%)増加し、経常利益は5,860百万円と前年同期に比べ943百万円(19.2%)増加しました。四半期純利益につきましては3,318百万円と前年同期に比べ5百万円(0.2%)増加しました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、84,297百万円と前事業年度末に比べ2,864百万円(3.5%)増加しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金は5,797百万円、投資その他の資産は1,797百万円、有価証券は997百万円、商品及び製品は410百万円減少しましたが、現金及び預金は8,673百万円、受取手形及び売掛金は3,090百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、9,992百万円と前事業年度末に比べ593百万円(6.3%)増加しました。これは、買掛金は674百万円、賞与引当金は533百万円減少しましたが、未払法人税等が1,082百万円、流動負債のその他が639百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、74,305百万円と前事業年度末に比べ2,271百万円(3.2%)増加しました。これは、主に利益剰余金が2,214百万円増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、30,870百万円と前事業年度末に比べ11,116百万円(26.5%)減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が5,837百万円、減価償却費が1,024百万円となり、売上債権の増加額が3,090百万円、法人税等の支払額が1,447百万円となったこと等により2,596百万円の収入となりました。(前第3四半期累計期間は2,056百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還による収入が1,693百万円、定期預金の払戻による収入が1,000百万円ありましたが、定期預金の預入による支出が10,500百万円、有価証券の取得による支出が2,994百万円となったこと等により12,549百万円の支出となりました。(前第3四半期累計期間は421百万円の収入)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が1,103百万円となったことにより1,163百万円の支出となりました。(前第3四半期累計期間は907百万円の支出)

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成21年10月29日「平成22年3月期第2四半期決算短信(非連結)」)の予想数値を変更していません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,324	4,650
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	28,545	34,342
受取手形及び売掛金	17,563	14,473
有価証券	3,695	4,692
商品及び製品	3,296	3,706
仕掛品	483	482
原材料及び貯蔵品	1,119	1,041
その他	941	885
流動資産合計	68,970	64,275
固定資産		
有形固定資産	6,379	6,341
無形固定資産	606	678
投資その他の資産	8,340	10,138
固定資産合計	15,326	17,157
資産合計	84,297	81,433
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,474	4,148
未払法人税等	1,638	555
賞与引当金	595	1,128
役員賞与引当金	28	31
返品調整引当金	4	3
その他	2,961	2,322
流動負債合計	8,702	8,190
固定負債		
退職給付引当金	889	707
その他	400	500
固定負債合計	1,289	1,208
負債合計	9,992	9,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	63,324	61,110
自己株式	△855	△854
株主資本合計	74,075	71,861
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	230	172
評価・換算差額等合計	230	172
純資産合計	74,305	72,034
負債純資産合計	84,297	81,433

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	29,052	33,073
売上原価	10,534	12,242
売上総利益	18,517	20,830
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,467	2,800
給料及び手当	4,186	4,279
賞与引当金繰入額	482	465
研究開発費	712	1,178
その他	6,035	6,437
販売費及び一般管理費合計	13,884	15,161
営業利益	4,632	5,668
営業外収益		
受取利息	230	148
受取配当金	25	22
為替差益	4	1
その他	28	32
営業外収益合計	288	204
営業外費用		
支払利息	—	1
その他	4	11
営業外費用合計	4	12
経常利益	4,917	5,860
特別利益		
固定資産売却益	2	—
取引契約終了一時金	800	—
残余財産分配金	103	—
特別利益合計	906	—
特別損失		
固定資産除却損	20	22
ゴルフ会員権評価損	12	—
減損損失	83	—
特別損失合計	115	22
税引前四半期純利益	5,707	5,837
法人税等	2,394	2,519
四半期純利益	3,313	3,318

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,707	5,837
減価償却費	973	1,024
減損損失	83	—
受取利息及び受取配当金	△255	△170
支払利息	—	1
残余財産分配金	△103	—
固定資産除売却損益(△は益)	17	23
ゴルフ会員権評価損	12	—
売上債権の増減額(△は増加)	57	△3,090
たな卸資産の増減額(△は増加)	318	330
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,405	△674
未払金の増減額(△は減少)	△314	141
その他	△660	455
小計	4,429	3,878
利息及び配当金の受取額	267	166
利息の支払額	—	△1
法人税等の支払額	△2,640	△1,447
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,056	2,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△10,500
定期預金の払戻による収入	50	1,000
有価証券の取得による支出	△996	△2,994
有価証券の売却及び償還による収入	893	1,693
有形固定資産の取得による支出	△771	△805
有形固定資産の売却による収入	490	0
無形固定資産の取得による支出	△71	△128
投資有価証券の取得による支出	△299	△814
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,001	3
残余財産の分配による収入	126	—
その他	△2	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	421	△12,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△905	△1,103
リース債務の返済による支出	—	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△907	△1,163
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,571	△11,116
現金及び現金同等物の期首残高	39,489	41,987
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,060	30,870

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

該当事項はありません。



2010年3月期 第3四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況		
1. 経営成績	P. 1	1. 四半期貸借対照表	P. 5
2. 財政状態	P. 1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況	P. 8
1. 四半期損益計算書	P. 2			
2. 製商品売上高	P. 3			
3. 売上原価	P. 4			
4. 減価償却費	P. 4			
5. 研究開発費	P. 4	【予想数値に関する注意事項】	P. 8

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てして表示しております。

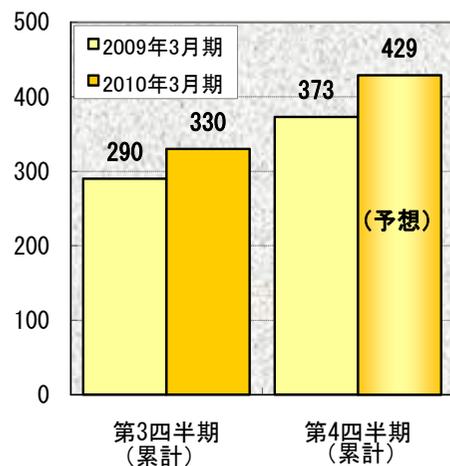
2010年2月4日

I. 主な経営指標等の推移

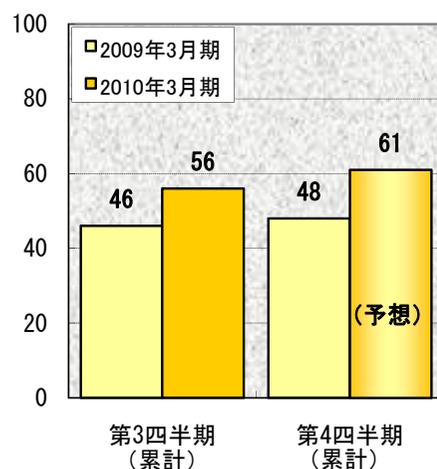
1. 経営成績

	2009年3月期				2010年3月期		2010年3月期予想	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期	対前年同期増減(率: %)	対前期増減(率: %)	
	(累計)		(累計)		(累計)			
売上高	9,479	18,762	29,052	37,349	33,073	4,021 (13.8)	42,900	
営業利益	1,381	2,541	4,632	4,899	5,668	1,036 (22.4)	6,100	
経常利益	1,475	2,718	4,917	5,257	5,860	943 (19.2)	6,300	
四半期(当期)純利益	1,242	1,923	3,313	3,476	3,318	5 (0.2)	3,500	
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	43.90	67.94	117.05	122.84	117.25	0.20 (0.2)	123.66	
自己資本四半期(当期)純利益率(%)	1.8	2.7	4.7	4.9	4.5	△0.2	—	
総資産経常利益率(%)	1.9	3.4	6.1	6.5	7.1	1.0	—	
売上高営業利益率(%)	14.6	13.5	15.9	13.1	17.1	1.2	—	

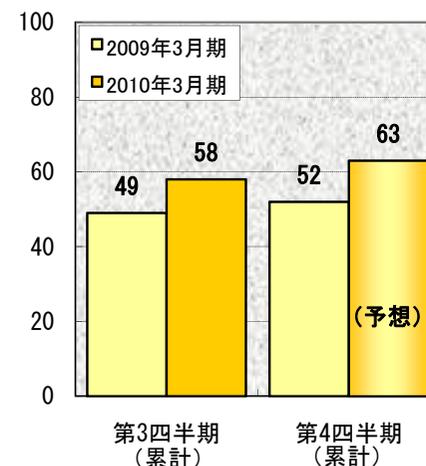
売上高(億円)



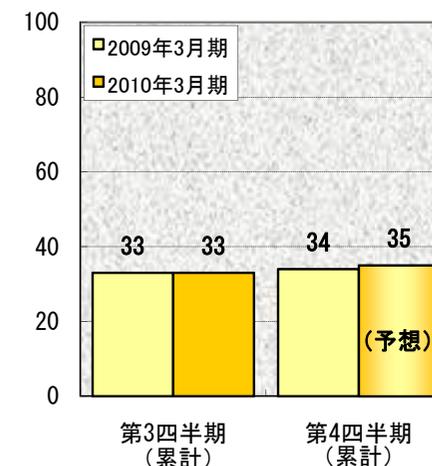
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益(億円)



2. 財政状態

	2009年3月期				2010年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期	対前期末増減(率: %)
総資産	78,593	79,547	79,543	81,433	84,297	2,864 (3.5)
純資産	70,516	71,013	71,899	72,034	74,305	2,271 (3.2)
自己資本比率(%)	89.7	89.3	90.4	88.5	88.1	△0.4
1株当たり純資産(円)	2,491.35	2,508.95	2,540.29	2,545.10	2,625.40	80.30 (3.2)

Ⅱ. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	2009年3月期	2010年3月期		2009年 3月期	対前年同期増減要因
	第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)		
売上高	29,052	33,073	4,021 (13.8)	37,349	【製商品売上高】 《増加要因》・レミッチカプセルの販売開始 ・ツルバダ配合錠、セロトーン等の伸長 《減少要因》・注射用フサンの減少 ・グリチロン錠の販売終了
製商品売上高	28,827	32,860	4,033 (14.0)	37,045	
不動産賃貸収入	225	213	△12 (△5.3)	303	
売上原価	10,534	12,242	1,708 (16.2)	13,648	【製商品売上原価】 《増加要因》・売上高の増加等
製商品売上原価	10,481	12,183	1,702 (16.2)	13,576	
不動産賃貸原価	53	59	5 (11.0)	72	
売上総利益	18,517	20,830	2,313 (12.5)	23,700	【販売費及び一般管理費】 《増加要因》・研究開発費、販売促進費の増加等
販売費及び一般管理費	13,884	15,161	1,277 (9.2)	18,800	
営業利益	4,632	5,668	1,036 (22.4)	4,899	
営業外収益	288	204	△84 (△29.1)	366	
営業外費用	4	12	8 (182.9)	8	
経常利益	4,917	5,860	943 (19.2)	5,257	【特別利益】 《減少要因》・前年同期：(株)ミノファージェン製薬との取引基本契約の段階的終了に伴う一時金等
特別利益	906	—	△906 (△100.0)	906	
特別損失	115	22	△92 (△80.2)	125	
税引前四半期(当期)純利益	5,707	5,837	130 (2.3)	6,038	
法人税等	2,394	2,519	124 (5.2)	2,561	
四半期(当期)純利益	3,313	3,318	5 (0.2)	3,476	

2. 製商品売上高

(単位：百万円)

品名	2009年3月期 第3四半期 (累計)	2010年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)
注射用フサン ※	7,473	6,429	△ 1,043 (△ 14.0)
アンテベート ※	4,338	4,643	305 (7.0)
ツルバダ配合錠	3,250	4,642	1,392 (42.8)
ユリノーム錠 ※	2,831	2,885	53 (1.9)
レミッチカプセル(注2)	—	2,462	2,462 —
セロトーン	865	2,010	1,144 (132.2)
ウブレチド錠 ※	1,533	1,495	△ 38 (△ 2.5)
ドボネックス軟膏	1,093	1,328	235 (21.5)
ゼフナート	1,111	1,141	29 (2.7)
ビオスリー	977	1,095	118 (12.1)
ロコイド ※	922	933	10 (1.2)
その他	4,427	3,791	△ 636 (△ 14.4)
計	28,827	32,860	4,033 (14.0)

(注1) 自社品には、品名に※を付しております。

(注2) 「レミッチカプセル」は、2009年3月24日より販売を開始しております。

【参考】	自 社 品 売 上 高	18,454	17,769	△ 684 (△ 3.7)
	自 社 品 比 率 (%)	64.0	54.1	△ 9.9 —

(単位：百万円)

2009年 3月期	2010年3月期予想	
	2010年3月期	対前期増減(率：%)
9,241	7,780	△ 1,461 (△ 15.8)
5,655	6,020	364 (6.4)
4,334	6,400	2,065 (47.6)
3,614	3,620	5 (0.1)
314	3,810	3,495 (1113.1)
1,147	2,380	1,232 (107.4)
1,958	1,910	△ 48 (△ 2.5)
1,458	1,840	381 (26.1)
1,317	1,450	132 (10.0)
1,289	1,370	80 (6.2)
1,205	1,240	34 (2.8)
5,506	4,810	△ 696 (△ 12.7)
37,045	42,630	5,584 (15.1)

23,501	22,430	△ 1,071 (△ 4.6)
63.4	52.6	△ 10.8 —

3. 売上原価

(単位：百万円)

	2009年3月期 第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	2010年3月期	
			対前年同期増減(率：%)	
売上高	29,052	33,073	4,021	(13.8)
売上原価	10,534	12,242	1,708	(16.2)
売上原価率(%)	36.3	37.0	0.7	—

(単位：百万円)

2009年 3月期	2010年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
37,349	42,900	5,550 (14.9)
13,648	16,100	2,451 (18.0)
36.5	37.5	1.0 —

4. 減価償却費

(単位：百万円)

	2009年3月期 第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	2010年3月期	
			対前年同期増減(率：%)	
不動産賃貸原価	28	33	5	(17.7)
販売費及び一般管理費	311	331	20	(6.4)
製造費用	632	659	26	(4.2)
計	973	1,024	51	(5.3)

(単位：百万円)

2009年 3月期	2010年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
38	43	4 (12.8)
503	445	△57 (△11.5)
875	915	40 (4.6)
1,417	1,404	△12 (△0.9)

5. 研究開発費

(単位：百万円)

	2009年3月期 第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	2010年3月期	
			対前年同期増減(率：%)	
研究開発費	712	1,178	466	(65.4)

(単位：百万円)

2009年 3月期	2010年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
1,191	1,873	681 (57.2)

(注) 当社は、親会社であるJTとの研究開発に係る機能分担において、主として既存品の剤型改良や効能追加等の機能を担うとともに、当社の得意とする領域の開発に参画しております。

Ⅲ. 財政の状況

1. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	2009年 3月期	2010年3月期 第3四半期		2009年 3月期 第3四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率：%)		
(資産の部)					
流動資産	64,275	68,970	4,695 (7.3)	62,812	
現金及び預金	4,650	13,324	8,673	5,727	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	34,342	28,545	△ 5,797	31,841	【キャッシュ・マネージメント・システム預託金】 《減少要因》・現金及び預金への振替
受取手形及び売掛金	14,473	17,563	3,090	15,251	【受取手形及び売掛金】 《増加要因》・売上高の増加
有価証券	4,692	3,695	△ 997	5,190	【有価証券】 《減少要因》・金融商品の償還
たな卸資産	5,230	4,900	△ 330	3,585	
その他	885	941	55	1,217	
固定資産	17,157	15,326	△ 1,830 (△ 10.7)	16,731	
有形固定資産	6,341	6,379	38 (0.6)	6,349	
建物	3,476	3,528	52	3,550	
機械及び装置	1,594	1,652	58	1,634	
土地	702	702	—	702	
その他	567	495	△ 72	462	
無形固定資産	678	606	△ 71 (△ 10.6)	724	
投資その他の資産	10,138	8,340	△ 1,797 (△ 17.7)	9,656	
投資有価証券	2,645	2,856	210	2,694	
長期前払費用	4,356	3,888	△ 468	3,878	【その他】 《減少要因》・長期預金を現金及び預金へ振替(1年内)
その他	3,168	1,627	△ 1,540	3,115	
貸倒引当金	△ 32	△ 31	0	△ 31	
資産合計	81,433	84,297	2,864 (3.5)	79,543	

(注) 「キャッシュ・マネージメント・システム預託金」は、JTグループにおいて国内グループ会社を対象としたキャッシュ・マネージメント・システムを統括している日本たばこ産業(株)への資金の預託であります。

(単位：百万円)

	2009年 3月期	2010年3月期 第3四半期		2009年 3月期 第3四半期
			対前期末増減(率：%)	
(負債の部)				
流動負債	8,190	8,702	512 (6.3)	6,542
買掛金	4,148	3,474	△ 674	3,053
未払法人税等	555	1,638	1,082	371
賞与引当金	1,128	595	△ 533	584
返品調整引当金	3	4	0	3
その他	2,353	2,989	635	2,529
固定負債	1,208	1,289	81 (6.7)	1,102
退職給付引当金	707	889	181	652
長期預り敷金保証金	365	310	△ 54	364
その他	135	90	△ 45	85
負債合計	9,398	9,992	593 (6.3)	7,644
(純資産の部)				
株主資本	71,861	74,075	2,213 (3.1)	71,698
資本金	5,190	5,190	— (—)	5,190
資本剰余金	6,416	6,416	— (—)	6,416
資本準備金	6,416	6,416	—	6,416
利益剰余金	61,110	63,324	2,214 (3.6)	60,946
利益準備金	1,297	1,297	—	1,297
その他利益剰余金				
特別償却準備金	8	7	△ 1	9
別途積立金	56,230	58,630	2,400	56,230
繰越利益剰余金	3,573	3,389	△ 184	3,409
自己株式	△ 854	△ 855	△ 0 (0.1)	△ 854
評価・換算差額等	172	230	57 (33.1)	201
その他有価証券評価差額金	172	230	57 (33.1)	201
純資産合計	72,034	74,305	2,271 (3.2)	71,899
負債・純資産合計	81,433	84,297	2,864 (3.5)	79,543

対前期末増減要因

【未払法人税等】
《増加要因》・前期：旧土気研究所跡地の売却に伴う
法人税負担の減少（評価損の損金算入）

2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2009年3月期	2010年3月期		2009年 3月期
	第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	対前年同期増減	
税引前四半期(当期)純利益	5,707	5,837	130	6,038
減価償却費	973	1,024	51	1,417
受取利息及び受取配当金	△ 255	△ 170	85	△ 324
残余財産分配金	△ 103	—	103	△ 103
売上債権の増減額(△は増加)	57	△ 3,090	△ 3,147	835
たな卸資産の増減額(△は増加)	318	330	11	△ 1,326
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 1,405	△ 674	730	△ 309
利息及び配当金の受取額	267	166	△ 101	330
法人税等の支払額	△ 2,640	△ 1,447	1,192	△ 2,642
その他	△ 861	620	1,482	△ 653
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,056	2,596	539	3,260
定期預金の預入による支出	—	△ 10,500	△ 10,500	—
定期預金の払戻による収入	50	1,000	950	50
有価証券の取得による支出	△ 996	△ 2,994	△ 1,998	△ 996
有価証券の売却及び償還による収入	893	1,693	800	893
有形固定資産の取得による支出	△ 771	△ 805	△ 34	△ 952
有形固定資産の売却による収入	490	0	△ 490	494
無形固定資産の取得による支出	△ 71	△ 128	△ 56	△ 88
投資有価証券の取得による支出	△ 299	△ 814	△ 514	△ 299
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,001	3	△ 998	1,003
残余財産の分配による収入	126	—	△ 126	126
その他	△ 2	△ 4	△ 2	△ 3
投資活動によるキャッシュ・フロー	421	△ 12,549	△ 12,971	228
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 0	0	△ 2
配当金の支払額	△ 905	△ 1,103	△ 198	△ 905
リース債務の返済による支出	—	△ 58	△ 58	△ 82
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 907	△ 1,163	△ 256	△ 990
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,571	△ 11,116	△ 12,687	2,497
現金及び現金同等物の期首残高	39,489	41,987	2,497	39,489
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	41,060	30,870	△ 10,190	41,987

対前年同期増減要因

【売上債権の増減額】
《減少要因》・売上高(売掛金)の増加

【法人税等の支払額】
《増加要因》・旧土気研究所跡地の売却に伴う
法人税支払額の減少

【その他】
《増加要因》・前年同期：未払金の減少、販売権の取得、
未収入金の増加等

【配当金の支払額】
《減少要因》・配当金の増加

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金(預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券(取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く)からなっております。

IV. 設備投資の状況

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2009年3月期	2010年3月期		2009年 3月期	2010年3月期予想	
	第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)		対前期増減(率：%)	
有形固定資産(注1)	746	906	160 (21.4)	906	1,109	203 (22.4)
無形固定資産(注2)	61	108	47 (77.4)	98	366	268 (274.0)
計	807	1,014	207 (25.7)	1,004	1,476	472 (47.0)

(注1) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主に製品品質・生産性の向上を目的とする佐倉工場の製造設備への投資であります。

(注2) 当期の無形固定資産に係る設備投資は、営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とする情報システムへの投資であります。

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク